



安全快適な交通社会を実現するために
私たちは、研究し、提案し、行動しています。

日本交通心理学会

日本交通心理士会

MAIL ADDRESS : staff@jatp-web.jp
HP ADDRESS : <http://jatp-web.jp>

交通心理



学会の目的

日本交通心理学会は「行動する学会」です。

学会というと「一部の研究者のためのもの」とイメージを持つのではないかでしょうか。そのような学会も少なくはありませんが、「日本交通心理学会」は違います！交通は乗り物をはじめとした多くの機械に支えられていますが、乗り物や機械を動かしているのは人間です。道路にはたくさんの歩行者もいます。人間の心やからだの状態、操作をおぼえる過程などを知っておかなければ、安全な交通社会は実現できません。つまり、交通にとって「心理学」は重要な学問領域なのです。



日本交通心理学会会長
松浦 常夫
実践女子大学
人間社会学部教授

日本交通心理学会では、研究者と実務家が一丸となって研究を続けています。研究者たちが行う研究は、机上の空論ではなく現場のニーズに基いています。実務家たちが利用するノウハウは、経験則よりも科学的根拠に基いています。したがって、研究者と実務家がコラボレートすることでさらなる価値を生むのです。安全な交通社会のために共に行動し研究する、それが日本交通心理学会です。



安全快適な交通

日本交通心理学会では、交通心理学に関して一定以上の知識と経験を持った人を「交通心理士」として認定しています。交通心理士の制度を設けて10余年、資格取得者は500人を超え、増え続けています。現在、多くの交通心理士が全国でそのノウハウを活かして活躍しています。その交通心理士たちが自らを磨いたり、情報交換する場を設け、安全な交通社会のために研鑽を積み実力を蓄える、それが日本交通心理士会なのです。

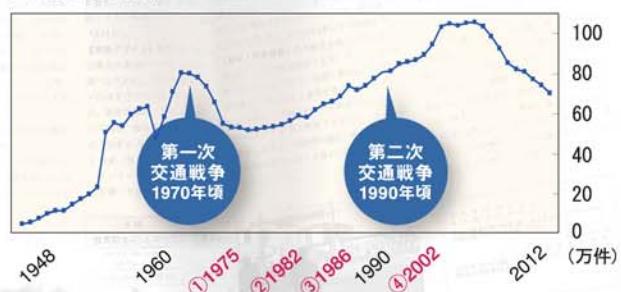


日本交通心理士会会長
神作 博
中京大学名誉教授

学会の沿革

- ①日本交通心理学会は第一次交通戦争に対する工学的対策に限界が見え始めた1975年、「日本交通心理学研究会」として発足しました。
- ②中央自動車道が全線開通した1982年、名称を「日本交通心理学会」に改称しました。
- ③原付き乗車中のヘルメット着用が義務づけられた1986年、論文誌「交通心理学研究」の発行を開始しました。
- ④軽自動車の字光式ナンバープレートが登場した2002年、「交通心理士」の資格認定制度をスタートしました。

交通事件発生件数



日本交通心理学会・日本交通心理士会の活動内容



4月

交通心理士試験 事前講習会

交通心理士試験の受験者のための講習会で、心理学を学ぶ機会がなかった方にもわかりやすく丁寧に講習します。

春期 交通心理士試験

交通心理士資格取得に必要な心理学の諸単位を大学等で取得されていない方を対象にした試験で、学科、論述、面接が実施されます。

5月

交通心理士ステップ アップ講習会

資格取得後にも講習会を開催し、交通心理学の知識や研究の方法論を学べるように交通心理士を支援しています。



6月



日本交通心理学会大会・自動車 教習所セミナー

日本交通心理学会最大のイベントです。3日間にわたり開催され、研究発表やシンポジウム、部会、特別講演、総会、懇親会などが開催されます。また、教習所指導員を対象にしたセミナーも開催されます。年によって開催都市が変わります。



7月



地区別研究会

東北、中部・関西、九州の3地区で、地域に密着した実践報告や研究発表が行われます。



9月

交通心理士試験 事前講習会

交通心理士試験の受験者のための講習会で、心理学を学ぶ機会のなかた方にもわかりやすく丁寧に講習します。

10月



秋期 交通心理士試験

交通心理士資格取得に必要な心理学の諸単位を大学等で取得されていない方を対象にした試験で、学科、論述、面接が実施されます。

11月

日本交通心理士大会

日本交通心理士会の年次大会です。2日間にわたり開催され、実践報告や研究発表が行われます。発表者は実務家が中心ですが、多くの研究者も参加します。

セミナーの開催

コーチングセミナー



上から知識を押しつけていると、学ぶ人は考えなくなります。学ぶ人と同じ目線に立ち、共に考えながら育っていくコーチングの技法を交通安全教育に取り入れてみませんか？

交通カウンセラー 養成講座

運転行動には人生の背景が関わっている場合があります。クライアントとの信頼関係を築き、共感することで根本的な原因を解決していく交通カウンセリングの技法を学んでみませんか？

学会誌・会誌の発行

学会誌「交通心理学 研究」の発行



日本交通心理学会が発行する論文誌「交通心理学研究」では、会員の研究者の最新で質の高い研究を学術論文として掲載し刊行しています。



日本交通心理士会 会誌の発行

日本交通心理士会会員の活動をはじめ地区別研究会や各種セミナーのリポートなど実務家向けの記事を中心に、年1回発行しています。



日常の 活動

国際交流

交通心理学の研究者は世界中にいます。日本交通心理学会では若手研究者の国際学会参加をバックアップするなど、様々な国際交流活動を行っています。



日本交通心理学会 国際交流委員会
蓮花一己
帝釋山大学心理学部教授

部会活動

交通心理学の対象は多様です。そこで、日本交通心理学会では対象別に「教習所部会」「企業部会」「学校・家庭部会」の3つの部会を設けて、それぞれの対象にどうアプローチするべきか、関係者によるきめ細かい議論をしています。



日本交通心理学会 教習所部会長
石川淳也
中央自動車学校校長

日本交通心理学会のホームページから、「入会申込書」は取得できます。 JATP 日本交通心理学会

HPトップページから
<http://jatp-web.jp>



こちらを
クリック

交通心理士資格取得のメリット

1

学ぶ

講習会や研究発表、学会誌など、心理学的知識や最先端の研究を学ぶチャンスがたくさんあります。



2

出会う

全国大会や懇親会など、研究者や同業の実務家と交流し、情報交換できる機会も充実しています。



3

活かす

身につけた知識や交通心理士の資格は、営業活動や教習生の指導、講演会など、様々なシーンで活かせます。



4

力をあわせる

実務家は問題意識やフィールドを、研究者は専門知識や技術を提供し合い、一緒に問題解決にあたります。



経験的に行われがちな交通安全に関する指導を、心理学の科学的なエビデンスにもとづいて実践できるようになる。そして実務家自身も科学者の視点を持って自らが知りたいテーマを分析していくスキルを身につけられる。それが、日本交通心理学会認定の「交通心理士」です。

資格の種類と昇格要件

交通心理士は交通安全に関連する行政機関、企業、団体に所属する人、教習所の指導員、交通安全教育を行う指導者、交通をテーマとする研究者と、それを志望する学生に最適な資格です。

★試験に合格すると交通心理士補になります。3年以内に昇格要件を満たすと交通心理士になります。さらに主任交通心理士、主幹総合交通心理士という上位資格もあります。

★大学等で必要な単位を取得している場合、試験の一部、または全てが免除されることがあります。

★交通心理士補を除いて5年ごとに更新があります。

交通心理士へのステップアップ

主任・主幹

交通心理士認定

3年以内に昇格条件をクリア

交通心理士補に合格*

日本交通心理学会入会

★大学等で心理学の諸単位を取得している場合、免除されることもあります。

学会の先輩たちから、あなたへ。

研究の場が広がりました

中村 愛さん

早稲田大学人間科学学術院 助手

研究者の認識と現場の実情にギャップがあると良い研究ができるません。そのため、運転業務や運転者教育に携わっている方と研究を進めることができます。一般的に若手研究者がその機会を得ることは難しいですが、私はこの学会に入って多くの実務の方との出会いがあり、充実した研究人生を送ることができます。



社会的意義の羅針盤！

大谷 亮さん

日本自動車研究所 主任研究員

今、当たり前の様に研究の社会的意義が問われています。自分の研究が果たして社会のニーズを満たしているのか？実務家と研究者の議論が絶えない本学会はそんな自問を解決し、自分の研究の社会的な位置づけが明確になる羅針盤の役割を果たしていると思います。楽しい議論を通して、みんなで「フロー体験」をしましょう。



勘と経験に限界を覚えたら

谷口 嘉男さん

八日市自動車教習所 副管理者

私は、教習生や企業研修受講者など、交通参加者と接する、いわゆる“現場の人”です。これは、損保会社の講習担当者や運行管理業務に関わる方も同じです。“勘と経験”だけでは相手の納得や理解が得られず限界を覚えるあなた、交通心理学の科学的なモノの見方・考え方を養うために、ぜひ一緒に活動してください。



味わい深い教習

柳谷 由里さん

学校法人米子自動車学校 理事長

運転者教育においては、危険予測の習慣を身につけていただくことが重要です。自分自身を守ること、そして他の交通社会人を守ることに交通心理学からのアプローチが有効です。教習の内容にも幅と深みが生まれます。新しい視点が教習指導員の仕事をより一層楽しいものにしてくれるでしょう。レッツ・チャレンジ！



交通安全教育がライフワーク！

奥山 祐輔さん

R45・日の出自動車学校 副管理者

教習指導員は初心運転者教育実務の専門家。しかし交通社会は初心者だけではないことから、全ての人達への交通安全教育者が必要です。それが交通心理士だと思います。教授、社長、管理者、検定員、新米指導員、肩書等関係なく共に交通安全に取り組む環境と情熱がここにあります。きっと交通安全がライフワークになります。



重要なのは現場目線です

郡山 美津江さん

運送事業所ドライバー

日本の輸送を第一線で担う長距離ドライバーが私の研究対象です。私自身、この道30年の現役長距離ドライバーでもあります。課題の多い長距離輸送業務とドライバーの心理。また、災害時の実状を踏まえ、今後の対応策を現場目線で考えます。実務との両立は大変ですが、ドライバーに寄り添いながら一緒に考えてみませんか。



入会等に関するお問い合わせは

日本交通心理学会事務局

〒160-0022 東京都新宿区四谷4-32-8 YKBサニービル5F

TEL:03-3353-0737 FAX:03-3351-5120 メールアドレス:staff@jatp-web.jp

ホームページアドレス:
<http://jatp-web.jp>

